

「チェックリスト」及び「手引き」の使い方

「手引き」では、先生方のクラスの実態と先生方の指導の現状を基に、先生方にお勧めの手立てが分かるようになっていきます。「手引き」を使う前に、「チェックリスト」(図 1) で次の①②を行い、指示する「手引き」のページ(図 2)にお進みください。※チェックリストでのチェックは、学期に1回程度で構いません。

- ①「チェックリスト」の質問に答えていく。
- ②「チェックリスト」で示された手引きのページを開く。

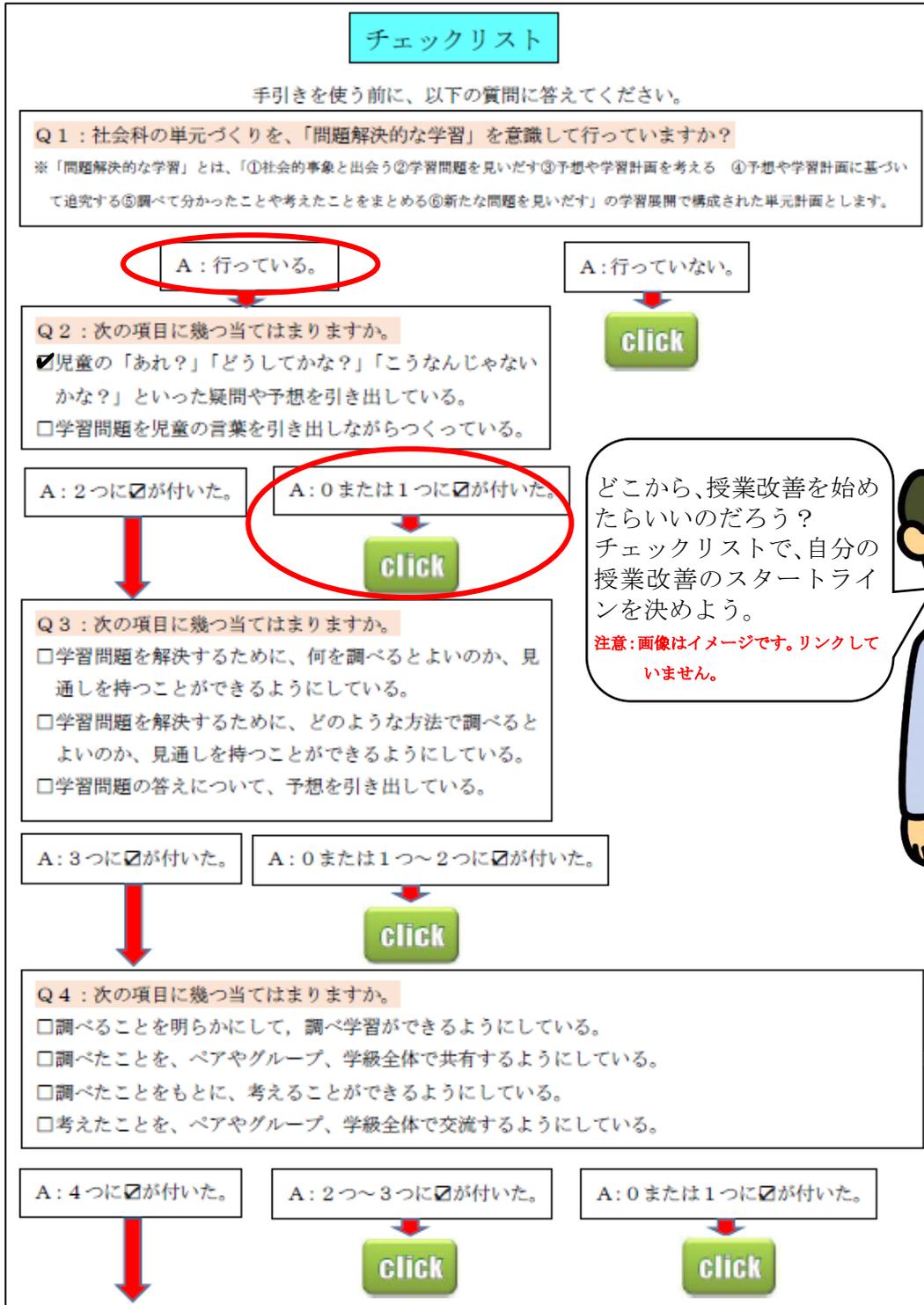


図 1 チェックリスト



指示された「手引き」のページ

※手引きでのチェックは、1 単元ごとに行うことをお勧めします。

**手順 1・手順 2**

- ① クラスの実態に☑する。
- ② ☑が付かない場合、⇒が示す記号・番号に進む。

うちのクラスは、資料を見せても、なかなか疑問を持つことができていないな・・・興味や関心も薄いなあ。自分はどんな指導をしているかなあ。A①②⑥をチェックしてみよう。



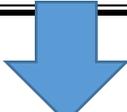
過程	課題把握		課題追究		課題解決		新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ				
技能 (取組する読み取るまとめる)	(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒A①②へ	(1) 学習問題や本時のめあて(課題)の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを書き出すことができる。☐ ⇒D①②③④へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒E⑤⑥へ	
思考力、判断力、表現力等	(1) 資料を基に気付きを持つことができる。☑ ⇒A①②へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒A①②へ	(1) 学習問題や本時のめあて(課題)の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを書き出すことができる。☐ ⇒D①②③④へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。☐ ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒E⑤⑥へ	

(1) 資料を基に気付きを持つことができる。☑  
⇒A①②へ  
(2) 資料を基に疑問を持つことができる。☐  
⇒A①②⑥へ

- 社会的事象に興味や関心を持っている。☐  
⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④
- 目的意識を持って追究活動を行っている。☐  
⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④⑪、D④へ
- 自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。☐  
⇒C①⑪、D⑩、D⑪、E④、F①へ

子供たちの様子はどうか。☐内の項目にチェックしてみましょう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決		新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
「主体的・対話的で深い学び」の視点から捉えた児童の姿	○社会的事象に興味や関心を持っている。☐ ⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④						
	○目的意識を持って追究活動を行っている。☐ ⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④⑪、D④へ						
	○自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。☐ ⇒C①⑪、D⑩、D⑪、E④、F①へ						
	○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、新たな考えに気付いている。☐ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ						
○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えを広げている。☐ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ							
○個人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えをより妥当性のあるものになっている。☐ ⇒C①、D③、D⑨、F③へ							
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、社会的事象の中から自ら問いを見いだしている。☐ ⇒A⑤⑥、B①、C①⑪へ							
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、調べたことを関連付け(つなげ)たり、総合し(まとめ)たりして考え、社会的事象に対する理解を深めている。☐ ⇒C⑩⑪、D①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪、E①②③④へ							
○社会的事象についての見方・考え方をを用いて、様々な社会的事象の意味や特色について考えている。☐ ⇒D⑤⑥⑦⑧⑨へ							





**手順3・手順4**

③⇒が示す手立てを授業で取り入れているかどうか、日々の授業を振り返る。

④明日の授業や次の単元に取り入れることを考える。

先生は、手順1・手順2で示した手立てを取り入れたり、意識して行っていますか。チェックしてみてください。図が付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。

学習過程	課題把握	方向付け	情報収集	課題追究	課題解決	新たな課題
<p>主な学習過程の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習問題を設定する。</li> <li>・社会的現象を知る。</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する。</li> <li>・学習問題を設定する。</li> </ul>	<p>●課題解決の促進しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や仮説を立てる。</li> <li>・調査方法、追究方法を吟味する。</li> <li>・学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>●予想や仮説の検証に向けて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校外での観察や調査などを適して調べる。</li> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる。</li> <li>・他の児童生徒と情報を交換する。</li> </ul>	<p>●社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的に考察する。</li> <li>・話し合う(討論等)</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。</li> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択、判断する。</li> </ul>	<p>●考察したことや構想したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を振り返って、結論をまとめる。</li> <li>・結論について他の児童生徒と話し合う。</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる。</li> </ul>	<p>●学習を振り返って考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える。</li> <li>・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする。</li> </ul>	
<p>主体的・対話的で深い学びの観点から捉えたポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童に気付きや疑問を持たせてから、学習問題を設定する。</li> <li>○設定した学習問題を基に、学習計画を考えさせる。</li> <li>○追究活動の中で、学習問題と同時のめあて(学習課題)とのつながりを確認させる。</li> </ul>	<p>○設定した学習問題を基に、学習計画を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。</li> <li>B②調べるといって考えたことをグループインプットし、何から調べたらよいかを調べる。</li> <li>B③学習問題調べる方法を調べる。</li> <li>B④調べていくが果敢から調べる。</li> </ul>	<p>○学習問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C①知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。</li> <li>・学習問題と学習計画を教室に掲げる。</li> </ul>	<p>○身に付けた知識の活用を促す学習課題(論議)を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>D①調べた事実と考えを明確に分けるようにさせる。</li> <li>D②事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。</li> </ul>	<p>○単元全体を振り返り、学習課題について自分の考えを書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>E①単元全体のまとめ方を例示する。</li> <li>E②キーワードを挙げる。</li> <li>E③まとめ方に関する判定基準を示す。</li> <li>E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。</li> </ul>	<p>○学習問題について考えさせた後、授業振り返るべきことを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を振り返り、日常生活で生かせることほいかに考えさせる。</li> </ul>	
<p>手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A①身近なことを題材に挙げる。</li> <li>A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。</li> <li>A③題材に対して気付きや疑問を持たせる。</li> <li>A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けて板書する。</li> <li>A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。</li> <li>A⑥自分の考えを持ちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。</li> <li>A⑦気付きや疑問を基に、調べていくことを考えさせる。</li> <li>A⑧調べていきながら学習問題として書かせる。</li> <li>A⑨個別に持った学習問題を全体で交流し、学習の学習問題を設定する。</li> </ul>	<p>B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。</p> <p>B②調べるといって考えたことをグループインプットし、何から調べたらよいかを調べる。</p> <p>B③学習問題調べる方法を調べる。</p> <p>B④調べていくが果敢から調べる。</p>	<p>C①学習問題を確認する。</p> <p>・知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。</p> <p>・学習問題と学習計画を教室に掲げる。</p>	<p>D①事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。</p> <p>D②調べた事実と考えを明確に分けるようにさせる。</p>	<p>E①単元全体のまとめ方を例示する。</p> <p>E②キーワードを挙げる。</p> <p>E③まとめ方に関する判定基準を示す。</p> <p>E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。</p>	<p>F①新たな学習問題を提示する。</p> <p>・子どもの考えを紹介する。</p> <p>・社会的問題を念んだ資料を提示し、学習問題を設定する。</p> <p>・ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を提供してもらう。</p> <p>F②これからの自分たちの姿を意識しながら対話させる。</p> <p>F③自分たちとできるかできないかの判断を全体で行い、考えさせる。</p> <p>F④学んだことと自分たちの生活(自分とできること)をつなげて考えさせる。</p>	

教科書の写真を見せているけど、身近な事例ではなかったな…。  
A①はやっていないぞ。子供たちにとって、身近な事例を紹介してみよう。

図2 指示された手引きのページ